

**東京理科大学 研究推進機構 総合研究院
界面科学研究部門 2020 年度報告会
(2021 年 3 月 11 日・オンライン開催)**

Annual Symposium 2020, Division of Colloid and Interface Science (DCIS),
Research Institute for Science and Technology (RIST), Tokyo University of Science (TUS)

11th March 2021, 10:30 - 17:45 On-line (Zoom)

10:30-10:40	開会あいさつ 酒井 秀樹 (界面科学研究部門 部門長)
10:40-14:50	部門メンバーによる研究報告
座長 : 橋詰峰雄	
10:40-10:50	界面活性剤と高級アルコールの共添加による高濃度エタノール水の泡沫安定化 酒井 健一 (理工学部先端化学科)
10:50-11:00	水溶性タンパク質特有のコンフォメーションに見出された二次構造変化の トラジェクトリー解析 白鳥 友貴 (薬学部生命創薬科学科後藤研究室)
11:00-11:10	糖に応答して分散性を変化する微粒子の調製 菊池 明彦 (基礎工学部材料工学科)
11:10-11:20	アズベンゼンデンドリマーを用いた光相転移型接着剤の合成と特性評価 青木 健一 (理学部第二部化学科)
座長 : 青木健一	
11:20-11:30	光応答性ゲルの開発と評価 金井 要 (理工学部物理学科)
11:30-11:40	ハイブリッド界面活性剤の多親媒性を利用した多刺激応答性を示す 有機／ハイドロゲルの作製 齋藤 典生 (工学部工業化学科)
11:40-11:50	粘性変化を利用した流れ制御手法の研究 小川 祥平 (工学部機械工学科石川研究室)
11:50-12:00	高分子基材の表面修飾方法がアパタイト複合化に及ぼす影響 橋詰 峰雄 (工学部工業化学科)
12:00-12:10	ベシクルに関する最近の研究から —界面科学研究部門の 3 つの重点課題と関連して— 酒井 秀樹 (理工学部先端化学科)
12:10-13:30	昼休み

座長：住野豊

13:30-13:40

気水界面を利用したフレキシブルな導電性ナノシートの作製技術
河合 武司（工学部工業化学科）

13:40-13:50

導電性ダイヤモンドライカーボン電極の血中薬剤測定への応用
近藤 剛史（理工学部先端化学科）

13:50-14:00

PEG-アルカリ金属イオン伝導体が内包されたキラルナノ多孔質結晶への
ワンポット自己組織化反応
小林 文也（理学部第一部化学科）

14:00-14:10

高秩序な有機半導体分子間界面の結晶構造および電子状態
中山 泰生（理工学部先端化学科）

座長：近藤剛史

14:10-14:20

ポリスチレン粒子集団の示す多様な集団運動
住野 豊（理学部第一部応用物理学科）

14:20-14:30

In situ 逐次架橋に基づくインジェクタブル IPN ゲルの one-pot 設計
大塚 英典（理学部第一部応用化学科）

14:30-14:40

表面電位付与によるイオン液体の吸着構造および摩擦係数の能動的制御
川田 将平（工学部機械工学科）

14:40-14:50

白金ナノクラスター助触媒担持による可視光応答水分解光触媒の高活性化
根岸 雄一（理学部第一部応用化学科）

15:00-17:35

招待講演

座長：酒井健一

15:00-15:45

分散凝集における表面間力：DLVO, non-DLVO and beyond DLVO
石田 尚之（岡山大学大学院自然科学研究科）

座長：河合武司

15:55-16:40

有機配位子保護金クラスターの機能応用
～発光、触媒、センシング、およびバイオメディカル～
川崎 英也（関西大学化学生命工学部）

座長：酒井秀樹

16:50-17:35

機能性高分子粒子の界面吸着現象に基づくソフト分散体材料の創出
藤井 秀司（大阪工業大学工学部）

17:35-17:45

閉会あいさつ

河合 武司（界面科学研究部門 前部門長）

聴講を希望される場合は部門総務までご連絡ください。

総務（理工学部先端化学科） 酒井健一 k-sakai@rs.tus.ac.jp (●をアットマークに修正してください)